新京日日新聞

定價 一ヶ月金一圓二十錢
郵稅 一ヶ月金八十五錢
廣告 一行金一圓廿錢
特別 同
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三三三五・三三〇六
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

東洋での事態は 東洋に委すべし

聯盟のおせつかいやがて支那の不法を煽動する

第二山海關事件に關し新京帝國大使館に於ては左の如き見解を下してゐるが右は山海關事件に對する最も正確なる觀測と見られ注目されてゐる

「今次の山海關事件の發端は一日午後九時山海關日本憲兵分遣所構內、山海關驛臨視所及び滿洲國々境警察隊附近其の他日本憲兵分遣所長官舍に手榴彈或は小銃彈を支那側が突如暗に乘じて放ちたるに起因するもので支那側は二日午前十一時我が山海關守備隊が支那側との協定に基く南門の守備につかんとするやこれに射擊を開始し事態を殊更らに惡化せしめてゐる

日本側としては今回の事件を地方的問題として解決し事態の擴大を防止し最善の努力を盡してゐる次第で支那側が殊更らに暴擧に出でぬ限り問題は解決されると思つてゐる

今次の事件に關し支那側は何故かゝる暴擧をしたか、それには左の樣な事情が主となつてゐる模樣である

一、聯盟が滿洲問題で徒らに混迷に陷り盡すことなきを察知した學良一派は聯盟をしてより混迷に陷らせしめる爲め而して對支聯盟の態度を轉換せしむべく策したること

一、對日聯盟の空氣を惡化せしめ新國家の治安攪亂を目的としたること等に基くもので支那側は第一次山海關事件（十二月八日）當時日本側と締結したる協定を無視したるのみならず寧ろ前記理由が主で對聯盟總會開會期を控へ斯くの如き行動をしたもので、或る意味から問題を見れば聯盟は極東問題に關する限り其複雜特殊性に鑑み問題の解決は東洋自體にあることと從つて日本の立場に信賴することが最善なりとの尊い教訓を得たものとも言はれる」

事件の眞相及我方針を 聯盟に通告して

その愼重態度を要望

〔ジュネーブ四日發國通〕山海關事件に關し我情報を得た杉村氏はパリに在る我代表部と電話を以て打ち合せの結果四日午後六時から七時迄ドラモンド總長と會談をした、右の會談で杉村氏は日本側の狀報に基き山海關日支衝突の端緖から四日迄の經過眞相を說明し殊に事件が支那側の挑戰によるものなること及我政府は飽くまで事件局地的解決を期するものなることを明らかにし左の如く諒解を求めた今回の事件は支那側の挑戰によることは明かである、而も事態は既に鎭靜に歸し日本政府は事件を地方的に解決するに努め出先官憲は目下何柱國と折衝中である、日本政府の情報に照しても今後支那が挑戰的行動に出ない限り事件擴大し、北支に波及する模樣はない、日本政府は誠意を以つて局地的解決を期し支那側宣傳の如き北支攻略を企圖するが如きは絕對に無い支那側は今回の事件を機とし總會の召集を要請するとも言はれるか既に現地に於て地方的解決の折衝が行はれて居る以上、聯盟としては此の際輕卒な態度に出ない事を希望する

一、山海關南關附近には我在住民多數あり、之が保護の要ある爲め既に事件發生前支那側と交涉し南關の警備權は支那軍が我に讓渡すべきを約せり依つて我軍は一日之が接收に向ひたる際支那正規軍が我に不法にも射擊を加へたるものである

一、以上の事件に處し我軍は自衞上支那軍を一時撤退せしむ可く行動を開始したものであるが我軍としては是以上更に他意あらざるを以つて支那側にして今後抵抗を續けざる以上事件は擴大しない見込だ

一、最後に我軍として最も遺憾に堪えないのは支那が對內政策上さきに南京三中全會で武力抗日を決議し學良が熱河へ續々兵力を集中對日戰意を示し我國の感情を不當に刺戟することであつて支那が右の如き態度を改めざる以上事件は或は今後惡化せざるなきを保し難い

各國の抱の疑惑を 一掃する爲めに

我外務省說明書打電

〔東京國通〕外務省では四日山海關事件に關し其後の情報に基き陸軍側と愼重對策協議の結果取敢えず事件不擴大、事件の地方的解決の二方針を確立それぞれ出先官憲へ命令適宜の處置を取らしめたが、一部外國には今回の事件が熱河問題發生の端緖たらざるべきかとの疑惑を抱く向もあるので今回事件發生眞相を說明しその疑惑を一掃する要ありとし次の如き說明書を作成、聯盟は勿論華府、倫敦、巴里その他主要各國駐箚の我帝國大公使に急送該各國政府へ電達方を求めしめた、尚外相は新年挨拶の爲め四日正午外務省を訪問せるソ大使始め英、米、佛、伊の各大使並びに代理大使に對しても同樣主旨の說明を與へた

說明書內容

一、今回の事件は去る一日山海關の我憲兵分遣隊附近に支那便衣隊が手榴彈を投じたに對し我軍は右犯人を逮捕せんとせるに支那正規軍が發砲したのであるが右は一九〇一年北清事變議定書により我が國に附與された彈壓治罪權の行使に依る犯人の搜查逮捕を不當に阻害せるものである

地方問題として 交涉に決定

出先官憲並に壽府へも打電

〔東京發國通〕外務省では澤田聯盟事務局長に聯盟事務局へ山海關事件の眞相と帝國政府の事件不擴大、局地的解を爲すとの解決方針を通告させた、同時に主要大公使に訓電し當該政府に同樣の通告を爲さしめた

〔東京發國通〕山海關事件の詳報到着と共に四日午前外務省亞細亞局に外務軍部の聯絡會議開催の結果、今回の事件は全く地方的問題なるを以て我方としては北平の張學良側と交涉して問題を地方的に解決し事件をこれ以上擴大せしめざる方針に決定した依つてその旨在濼平津出先官憲に訓電し事件の圓滿なる收拾を命令した、尚ほ外務省は其の旨を在ジユネーヴ帝國代表部に通知し聯盟へも移牒せしめた

滿洲國駐日代表公署

四月迄に公使館に昇格

〔東京五日發國通〕我駐滿全權部の大使館昇格に對し滿洲國側でもこれと相對的に駐日代表公署を一月中旬迄に麻布櫻田町の新館に移轉し四月迄には公使館に昇格すべく着々準備を進めつゝあるが、現駐日代表鮑觀澄氏は愈々近く歸任して外交部の要職に就き新たに公使を派遣する筈で既に初代公使の人選も略決定した模樣である。尚ほ館員としては參事官以下一二三各等書記官及數名の官補が任命されることとなつてゐる

初閣議席上

山海關事件の眞相報告

〔東京國通〕新年初閣議は四日宮中政治始め終了後午前十時十分より東二の間で開會、齋藤首相以下各閣僚（高橋藏相、岡田海相缺席）並に藤田海軍次官出席、荒木陸相より山海關方面日支軍隊衝突事件の眞相經過につき詳細說明、内田外相は我駐支官憲より舊臘來張學良始め北平支那官憲に對し今回の如き事件勃發せざるやう極力防止策を勸告せる事情報告、藤田海軍次官亦海軍の執つた措置に就き諒解を求め午前十一時五分散會した、尚ほ六日の定例閣議は休會し十日は首相以下各閣僚に鴨獵仰付けられることゝなつたので定例閣議を繰上げ九日開會を申合せた

贈物の撰擇は 中谷時計店で
只今半額割戻し 年末大賣出し中

印刷機械及材料
各種印刷と製本
卸小賣 北原紙店
電話 三一四一 二四〇一 三七三九

怪人凱歌

（近日上演 映畫化）須藤鐘一　（畫）濱 秋方

（百九）

第の日（三）

少年の負傷は、頭部、顔部、肩口から兩腕、脚、股のあたりに受けた大小の打撲傷で、額の疵から流れ出た血が顔をすつかり染めて物凄い形相を呈してゐた。

好人物らしい五十からみの淺田院長は、一通りの診察を終ると、上品に禿上つた額をつるりと撫であげながら、

『なアに、大した事ではありません。だが、一つ頭部の疵が少し深いやうだから、當分は絶對安靜を要しますな』といつた。

院長の眉根に、かすかな不安の曇りのあることを、眞佐子は見のがさなかつた。

『さうですか。どうぞ十分のお手當をお願ひいたします』

『して、此のお方はあなたの弟御さんか？』

『いゝえ、今しがた通りがかりに此の方が何者かにいぢめられてゐらつしやいますのを見かけましたので……』

『おや、まるで御存じないお方ですか？』

『はい、でも、わたしが萬事引きうけますから、どうぞよろしく御治療をおたのみいたします……』

『承知いたしました』

眞佐子は少年を淺田醫院の一等室に入れてもらひ、看護婦をたのんで丁寧に手當をしてもらふやうにたのんでおいて歸途についた。

少年が何處の何者であるかといふ事は勿論、どういふことが原因であんなにひどい目にあつたかさつぱり分らない。さういふ氏も素性も知れないものゝ一切を引きうけて入院させたりなどして、後日何かの迷惑がかゝるやうなことはあるまいかとも考へて見ないではなかつた。……しかし、闇タクの中で彼女は自分の今晩の行動に對して、少しも後悔の氣持は起らなかつた。

やはり善い事をしたのだ。初めあの怪しき叫び聲を聞いた時、そのまゝ聞きすてゝ明るい灯の街の方へ驅け出してしまつたら、少年は打ち倒されたなりで、雨に濡れそぼち、寒さに凍えて、氣絶してしまつたかも知れない。

たとひあの少年が手のつけられない不良兒であつても、人間の命はおろそかに出來ない筈だ。殊にまだ春秋に富んでゐるあの少年の魂に、よし少しの疵や曇りが出來てゐようとも、眞心こめた勞らかな手を差しのべて、拭ひとつてやるものがあつたならば、きつと再び元のひかりを取りかへすにちがひない。彼の少年にとつて、おそらく今が一番大切な時機であらう。

『……ほんとによかつた。ちやうどいゝ折にわたしが通り合せて……どうかあの疵もコジれないで、はやくなほつてくれるといゝが……』

眞佐子はあらためて心に祈りながら、タクシーの動搖に快よく身をもまれてゐた。

根岸の家にかへると、病床の母川院主に一通りさつきの出來事を話した。

『そんなことしていゝのかえ、一體、どんな風の少年だつたの』と先生の信子は少し危むやうにいつたが、たしかに或る好奇心は動かされたやうだつた。

『どこか良い家の坊ちやんかも知れません、色の白い、華奢な身體つきで、飛白絣の羽織に袷を着てゐましたが、それはすつかり泥まみれになつて、帽子も下駄もどこかへ飛ばされて、近くにはありませんでした』

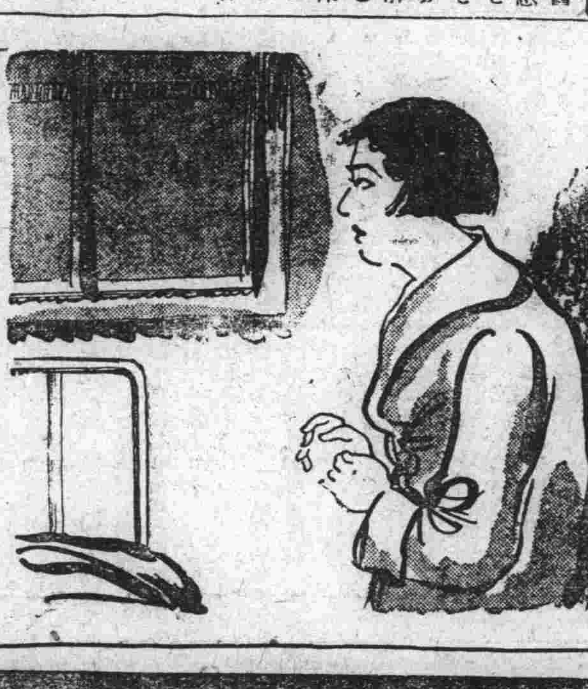
『さう。──然しね、近頃は良家の坊ちやんでも、隨分性の惡いのがあるから、それに係りあつた爲めに、飛んだ目にあふやうなことはないかしら？』

『さあ、そんな事はないだらうと思ひますが……』

『兎に角、明日は早く行つてよく身元をしらべ、親御を呼んで其の手に渡すやうにするといゝわ』

『はい、さういふ事にいたしませう』といつたが、先生からそんな風に云はれて、自分の行爲が何だかあまりに向見ずのやうにも思はれ出した。が、

『いや／＼そんな事はない。やはり善い事をしたのだ！』と、强いて自分の心に云ひきかせた。



愛用者優待

クラブ美身クリームの素晴しい大懸賞

特等 三大名所御招待

三大名所のうちお好きな處を一個所お撰びになれます

クラブ美身クリームは、如何なる場合に用ひられても、皮膚のために有効で、日ヤケやアレを完全に防ぐのみならず、皮膚に營養を與へて、いつも美しい色艶と滑かな肌ざわりを保つことが出來ます。

又紳士方の髯剃後は勿論、御婦人方の御化粧下にクラブ美身クリームをお用ひになりクラブ白粉をおつけになりますと、白粉のノリノビも申分なく思ひのまゝに高尚な美しいお化粧が出來ますので非常な好評を賜つて居ります。

最近更に、三内醫學博士其他に依り内外各種クリームの日ヤケ、アレ止めに對する効力比較研究の結果クラブ美身クリームが第一等の優良品たる事を立證せられましたので、此機會に平素の絶大なる御愛用に報ゆるべく、左の項目にお答へ下さつた方の中から抽籤に依り三大名所御招待其他左記のやうな素晴らしい賞品を差上げます。

販賣店並に御店員御優待規定は業界各新聞紙上、及び、太陽堂月報紙上に發表致します

優秀景品 五萬壹千五百貳拾五名

お答へいたゞきたい項目

一、大忠臣楠公の銅像は東京のどこにありますか

二、東京驛と横濱驛との距離と、大阪驛と神戸驛との距離は何れが近いでせうか。

三、日ヤケやアレを完全に防ぐクラブのクリームは何といふクリームですか。

（右三問題の中どれでも二つ以上を、簡單にお答へ下さい。）

お答への用紙と方法

クラブ美身クリームの外函（一個）の裏面へ（函の横の一方を切つて函を一枚の紙のやうに平にして其裏へ）

一、前記三問題の中どれでも二ツ以上の答

一、三大名所の内、あなたの御希望の地名

一、あなたの御住所と御姓名

とを判り易く御記入の上開き封で御郵送（二錢切手を貼つて）下さい。

一人で何通應募されても差支ありません。

締切 昭和八年一月末日

發表 昭和八年二月中旬

（三大名所御招待は昭和八年陽春三月）

一、應募條件に適へる回答紙全部を遊覽地別にして、各五十名づつの特等を抽籤し、以下全部から更に抽籤に依つて壹等以下各等を定めます。（抽籤は所轄署、新聞社、通信社御立會の上極めて公平に行ひます）

一、特等當籤者の招待期日及集合地其他詳細は御當籤決定後御報知致します。

特等 三大名所御招待

京都名勝遊覽 並に 奈良見物 五十名

東京遊覽 並に 大芝居見物 五十名

箱根温泉遊覽 並に 富士五湖めぐり 五十名

特等當籤者にして參加御棄權御申出の方及び樺太滿鮮台灣の特等當籤者には代賞として高級腕時計（一個）又は新型四球式ラヂオ・セット（一台）を御贈呈致します

一等 白米 貳俵宛 十名

二等 錦紗御召 壹反宛 十五名

三等 携帶用（新型）蓄音器 壹台宛 二十名

四等 白米 壹俵宛 三十名

五等 プラトン萬年筆 壹本宛 壹百名

六等 日本産業歌（コロムビアレコード） 壹枚宛 貳百名

七等 クラブ白粉 壹個宛 壹千名

八等 クラブ石鹸 又は クラブ煉歯磨 旅行型壹個宛 試用型壹個宛 五萬名

答案送り先 大阪市浪速區水崎町 中山太陽堂クリーム懸賞係

クラブ白粉・クラブビシン・クラブ歯磨・クラブポマード・クラブ石鹸

不埒な張學良が逆に日本を誣ふ

日本の警告に對して

（天津五日發國通）二日發せられたる中村司令官の警告に對し學良は本日逆に日本軍が便衣隊を使嗾云々と日本側を誣ひたる文句を以つて回答を寄せて來た、日本軍當局は該警告は單に今回の山海關事件が學良の責任たることを明示し覺醒を促したるのみで別に回答を欲するにあらずとしこれを一蹴した

兵火北支に波及せば非が支那側にあるとゆ

小國側は擧つて對日强硬か

（ジユネーヴ四日發國通）山海關事件に對し聯盟筋に於ては單にこれを事務的に取扱つてゐるに過ぎず、未だ何等對策も講ぜられて居ないが、聯盟側でも事件が北支一帶に波及する事を極度に憂慮し、若し北支那にまで擴大する如き事あればその原因が支那側に在るにしても小國代表は總立ちとなつて對日强硬論を强調すべく、聯盟側の意向を探つて見るに事件の局地的解決が達成され日支紛爭問題の處理がこの事件で更にこぢれる事が無い樣にとの希望を有してゐる

佐世保から某方面に軍艦突如出動す

（東京國通）佐世保軍港在泊中の軍艦○○は○日夜○○方面に向け出動した、今や全市に戰時氣分横溢す

秦皇島居留民は平戸に收容

（天津五日發國通）秦皇島背後には多數の敵軍あり形勢不穩なる爲め同地居留民六十名は驅逐艦に收容されてゐたが本日巡洋艦平戸に收容された

山海關は我軍が治安を維持

將來の禍根を除く爲

（錦州五日發國通）山海關事件は今回我軍の占據を機會とし將來の禍根を除く爲め事件解決迄我軍の手によつて之れを管理し皇軍が關內の治安維持に任ずる事となつた

學良の不遜態度には斷乎膺懲あるのみ

＝天津軍某幕僚は語る＝

（天津五日發國通）學良側と我軍との間に事件を地方的問題として解決方交涉中との說に對して駐屯軍某幕僚は之を肯定もせず否定もせず、次いで新京より傳へられる支那側の謝罪、將來の保證、責任者處罰の三原則による解決方針に決定せりとの質問に對し非公式に語る

「交涉が行はれつつありと假定してもそんな生温い條件で濟まされるか」と冒頭から否認し「學良は我に對し一點の誠意をも見せざるのみか無禮千萬にも白を黑と言ひ張り、國際問題として聯盟の袖にかくれんとし、他方大兵を山海關方面に集結し抵抗の準備をしあくまで挑戰的態度に出て居る、この頑迷不遜に對しては斷乎膺懲の一擊あるのみだ」

聯盟の空氣は惡化すまい

松岡代表語る

（ローマ四日發國通）イタリー來遊中の松岡全權は山海關事件其他に關し四日夜左の如く語つた

余は最初イタリーからスペインを歷訪し十三日乃至十四日ジユネーヴに歸る豫定であるが、豫定を繰上げ急遽ジユネーヴに歸還し決議案及び理由書の起草に關し打合せを遂げねばならぬ事となるかも知れぬ、山海關に於ける日支兩軍の衝突に關しては未だ何等の情報にも接して居らぬ、何れミラノに到着する頃情報を接受するものと思はれる、勿論山海關事件でジユネーヴに於ける形勢が多少でも變化を來す樣な事はあるまいと信ずる併し未だ本國政府から公式に接して居らぬからこれ以上意見を述べる事は出來ない

秦皇島沖の制海權掌握

（天津五日發國通）山海關から秦皇島沖に我軍艦數隻あり完全に制海權を把握した

石河右岸に亘り支那軍逆襲準備

山海關奪回を企圖

（天津五日發國通）支那紙所報によれば第九旅の損害は六百廿五團の死傷千數百に達し安德馨大隊の如きは隊長以下全滅の憂目に遭ひ支那軍は石河右岸を第一線とし、目下主力を秦皇島附近に集中し堅固な防禦工事を施しつつあるが、不日兵力の增援を待つて逆襲に轉じ山海關を奪回する筈であると

山海關の市民暴虐を免る

（天津五日發國通）山海關市街は其後我軍隊の敏捷なる行動により治安恢復され、市民は暴虐なる支那軍の手より脫した事を心から喜んで居る

支那軍石河右岸に防禦工事を急ぐ

山海關城內は平靜

（天津國通）軍司令部公表山海關城內は全く平靜に歸し鈴木○團は角山寺から鐵道線路まで、落合部隊は鐵道線路から南方海岸線に主力を集めてゐる一方支那軍は石河右岸に陣地を占領し防禦工事を爲し目下何柱國は海陽鎭に在るもの如し

支那軍の掠奪暴行

（天津五日發國通）秦皇島支那街は支那軍の入市以來秩序紊亂し到る處で暴行を行ひ商民からの徵發、掠奪をほしいままにし昨夜など避難の我居留民の家屋殆んど全部に侵入一物も殘さず掠奪し去つたので守備隊當局は大いに憤慨して居り、事態險惡の度を加へて來た

中央の强硬目あてに

學良が飛行機武器を要求

（天津五日發國通）南京政府よりの强硬態度に接し學良は四日軍事分會の結果當面の切拔け策として軍需品、特に飛行機多數の輸送を請願する事になつた模樣であり、學良は第一軍司令部に對しても今後の對策に就て萬全を期すべき旨命令し來つた

山海關南門內外火災

我軍は事件擴大防止に努む

（天津國通）軍司令部發表、山海關では戰爭中市民は多數避難し火の始末を怠りたる爲めと砲彈落下の爲めに今朝來南門內外に火災起り損害相當に上る見込みである、日本人商店南家洋行も全燒の厄に會つた、尙山海關日本軍は專ら戰後の秩序恢復と治安維持事件の擴大防止に努めてゐるが一方戰備には怠りなく、支那軍の出樣如何では斷乎膺懲する態度を以つて望んでゐる

我軍の損害

（天津發國通）軍司令部發表四日までに判明せる我軍の損害左の如し

戰死者　吉田中尉、兒玉中尉、遠藤中尉、藤村少尉、小田島軍曹（以下一等兵）池田定夫、米塚兵之丞、吉田德七、下道千太郎

生死不明九名、計十八名

負傷者　原子大尉、八木特務曹長（以下五十七名）

我軍艦平戸及び英國艦二隻

三日午後秦皇島入港

（天津國通）軍艦平戸は本日午後秦皇島に入港し英國軍艦も一隻入港した、尙今夕刻更に英艦一隻入港の筈

應援軍として昌黎への途中にある、之等有力部隊が目的地に到着せば多數をたのむ支那軍の事とて如何なる行動を起すやも知れず、鎭靜に向ひつつある山海關事件も樂觀を許さぬ情勢にある

山海關事件に關し出淵大使の發表

（ワシントン四日發國通）今回の山海關事件に關し駐米大使出淵勝次氏は本日左の如く發表した

余は未だ本國政府より山海關事件に關する帝國政府の說明をスチムソン氏に提出すべき旨の訓令を接受してゐない、但し明後日山海關事件に關しスチムソン氏と會見することとならう

山海關方面への支那軍集中狀況

（天津五日發國通）天津西北方駐屯の第十五旅に屬するものと思はしき步兵八百と馬二百は今朝八時秦皇島方面に向つた

之は今次事變後鐵道に依る天津通過の最初の軍隊輸送である

灤州の支那軍秦皇島へ

（天津五日發國通）軍司令部四日午後十時發表灤州の支那軍第二十旅は四日午前十時頃より秦皇島に向け續々輸送されつつあり

宣化の第十五旅も出動

（北平五日發國通）張學良は對內的關係もあり、對日抵抗を試みるものの如く宣にあつた第十五旅姚東番軍に移動を命じた

唐山一帶に軍用電話を架設す

（天津五日發國通）支那側は其後依然戰備を整へ灤州唐山一帶に軍用電話を架設する事となり本日當地より若干名の技手工夫を派遣した

第二十旅陣地工作中

（天津五日發國通）司令部發表、第廿旅は四日夜來秦皇島近傍に集結し、支那街から九千二百米の長城線消停車場附

各方面の正規軍　偽勇軍續々移動を始む

（天津五日發國通）事變發生以來學良は急遽軍を灤州に向け集結せしめつつあるか今迄に當地通過灤州方面に向つたものは第一次五百第二次八百第三次一千で尙續々派遣される見込である

（北平五日發國通）山海關事件で熱河進出の豫定を變更急遽灤州移動を始め優勢なる騎兵第三旅の先發部隊は今明日中灤州に到着の筈で、目下後續部隊も移動活潑である、更らに密雲一帶にある舊王以哲の第七旅偽勇軍の聯合部隊も

進退兩難の學良

一切を聯盟に持込むか

（天津五日發國通）軍司令部發表、既報の如く中村司令官の警告に對し學良の回答は無禮極まるものであり、即時突返へされたが、學良は今や、對內對外的に進退兩難に陷り近く開會される聯盟總會に山海關事件一切を移牒せんと決してゐる、南京政府よりはしきりに積極的軍事行動を執る可き旨電報し來り、學良も之に動かされ本日に至り軍事移動は頗に頻繁に行はれつつある

彩しき武器彈藥熱河に輸送

學良軍大規模の出動

（北平五日發國通）學良の偽勇軍にして熱河省境に達してゐた一部は今回の山海關事件で急遽灤州方面に移動を開始したが大部分は承德に進出してゐる、更に第十六旅、三十旅の正規軍も熱河に前進中で第十九旅先發部隊は三日建昌に到着し目下滿洲國省境出動の準備中である、北平よりは連日二回トラツクで武器彈藥食糧の大輸送が行はれてゐるが積極的な滿洲國省境攪亂は一月下旬頃にならうと見られてゐる

萬福麟を任命し

前敵總指揮官に　大軍が灤州に集結

（天津發國通）支那側よりの確報によれば北平軍事分會々議の結果萬福麟が關內軍の前敵總指揮に任命され山海關事件は更に擴大し日本軍前進するに於ては灤州に司令部を置き同地に軍を集結することになつたと、又一說によると萬福麟は三日灤州に向つたと言はれてゐる

阿片法施行期は來十一日と決定

阿片法及阿片施行令は既に國務院參議府兩會議を經て敎令として公布せられたるも之等施行期日は同法第二十二條に「本法施行の期日は敎令を以て之を定む」と規定せられあるにより本五日午後二時より國務院に於て臨時國務院會議を開催し國務總理以下各部總長出席の下に施行期日に關する審議の結果大体大同二年一月十一日より之を施行する事に決定した、尙之に附隨し阿片輯私法及查獲私土獎勵規則も共に實施されるものであ

世界經濟の動向と（一）

鮮滿財界の前途

朝鮮銀行總裁　加藤敬三郎

世界經濟は過去三ケ年間に亘り加速度的に不況深刻化しつつあつたが、最近に至り英米兩國が先づ金融的に著しく好轉し來り、之が全體として世界經濟の人氣に好影響を齎らし、從つて一般景氣の動きは略底入れ狀態にあると傳へられてゐる、乍併生產界は世界的に未だ好化の事實を現はさぬのみか世界不況の根本原因と見做されつつある國際間に於けるコンフイデンスの缺乏と破壞とは依然繼續せられ各國は自國本位の經濟を目標とし、關稅の障壁を高め、只管其の財政金融並貿易の統制に努めつつある結果、英米佛を除く世界の主要國は殆んど爲替管理を實行し、現に其の數三十有餘國に達してゐる狀態である、此の間我國に於ては海外財界の低迷不振なるに比し近來著しく好調を示し、物價漸騰、貿易良化、株界活躍等の事實を見るも雖も對外爲替は年初以來落調止まず、遂に二十弗前後に激落するに及び、之が財界に對する影響の甚大なるより、遂に我國に於ても爲替並貿易管理に迄發進まんとしつつあるは周知の事實にして、今や我國は經濟國難の打開に努むると共に、新に成立せる滿洲國を支援し、引續き朝鮮の開發を促し、以て內鮮滿の聯絡統制を圖り其の經濟の樹直に全力を傾注すべき極めて重大なる時機に遭遇しつつあるが

英國は一昨年九月其の光榮ある金本位を離脫するの已むなきに至つたが、信用强大なる五大銀行を以て根幹とする金融機構には幸にして何等の不安もなかつた、政府は爾來財政の確立、國際借の改善並デフレーシヨンにより爲替の激動を回避することを其の政策の基調となし來つたが、其後財政狀態は政府の努力によつて幾分良化し、殊に昨年二月以降各國に卒先して金利引下を續行し、世界の低金利傾向を指導すると共に米佛より借入れたるクレヂツトの大部分を償還したるか如き特に注目すべく又昨年四月には爲替の投機的激動を防止する爲に爲替均衡基金を設置するに至つたか、其後に於ける磅は比較的軟調を持續し、最近戰債支拂問題等の不安材料により三弗二〇臺となつてゐる、斯くて物價は昨年七月以來反騰氣分を示してゐるが、生產方面は尙不振を免れず、貿易は昨年一月より十月迄に輸出三億四千四百萬磅輸入五億八千百萬磅となり、之を前年に比すれば輸出十九%輸入一七%各減退を告げ居る狀態にある

獨逸は一昨年夏の恐慌に際し極度の混亂に陷つたが、政府は極力金本位制の擁護に努め銳意信用の回復と金融機構の整理再建に努力しつつあるは顯著なる事實である、而も一般財界は尙不振の狀態を續け昨年一月より十月迄の貿易統計によれば輸出は四十七億馬克に上るも前年同期より三八%を激減し、輸入は三十八億馬克にして同しく三三%の減退を示し、物價は低落一方に傾き、生產工業の如きは特に沈滯の狀を極めつつある

佛國は世界金融恐慌に際し、巨額の金を集積し其の保有金は一昨年六月以降の一年間に於て二百六十億法の增加を示した、斯くて其の金融情勢は英獨其他の諸國と趣を異にすることは勿論なるも、物價は獨逸同樣頻りに低落を續け生產界又極度の不振に陷り、從つて失業者數は昨年八月に於て三十萬人に上り之を前年に比すれば約五倍以上に達し、貿易の如きは昨年の十ケ月間に輸出は前年より四一%輸入は同じく三一%と各其の激減振りを示してゐる而も現在八十億フランといふ赤字財政に惱まされ、最近米國に對する戰債支拂問題に絡み、遂に政變を見るに至り、同國經濟界の前途も容易に樂觀し得る狀態にある

敵の中に殘つた居留民救出しに

天津から警官潜行す

（天津五日發國通）根組巡查一行は昨四日午後三時漸く昌黎に到着した、其の時既に居住邦人は自發的に秦皇島に向け避難の後であつた、一行は更に北戴河に出て其の北方六邦里の石門居住邦人二名を救出すへく敗兵の群かる中をガタ馬車に搖られなから死線を越えて石門に到着した、と今朝總領事館に公電かあつた

石河左岸

何柱國軍は集結を行ひつゝあり

（天津五日發國通）我軍の一擊に脆くも敗れた何柱國軍は其後海陽鎭に後退集結中で石河左岸は騎兵部隊と入代つた形である、日本側は敵が逆襲に轉じない限り積極行動に出でず目下山海關の治安維持に當つて居る

攪亂を電命

偽勇軍に後方

（天津五日發國通）蔣介石は四日學良に對し日本軍の增援を阻止し且つ後方を攪亂する必要あるため至急鄭桂林其他偽勇軍に即時綏中を中心として活動せしむる樣電命する所あつた

支那側にも漸く和平の空氣濃厚

但第九旅は反擊を準備

（北平五日發國通）山海關事件に於ける支那側の損害は死傷千七百と報ぜられてゐる、後退した第九旅は殘兵を整理し石河に於て應急防備に當り山海關を去る四十哩の昌黎に堅固なる陣地を構築主力を集結鐵甲車を裝備し命令一下山海關奪還の反擊に出づ可き作戰を樹てゝゐるが一般に平和解決を要望する空氣が濃厚で支那側としても强いて之れ以上戰禍の擴大を希望してゐない模樣である

負傷者敗殘兵入津した爲

支那街は極度に動搖

（天津五日發國通）山海關秦皇島附近の避難民が、少しづつ着津しつゝあつたが、昨四日は、避難民に負傷者敗殘兵を混せて一千數百名が一時に流れ込み、尾にヒレを附けて宣傳したりするので支那街方面人心は極度に動搖し日支境界線附近の空屋は頓に增加した

居留民は四日自宅へ歸還

（天津五日發國通）軍司令部發表、山海關の秩序回復し我守備隊に收容しあつた居留民は四日午後自宅に歸還せしめた、奉山線は四日より復舊し我將兵の志氣益々旺

學良は中央の命令通りに

自力回復に絶望した

（天津五日發國通）種々の情報を綜合するに第九旅の脆き敗退振りに學良大いに落膽の狀態だが三中全會での對日武力抗爭決議ありその後中央の態度頗る强硬なるため學良も對內的立場より表面强腰を構え、目下列車の豐臺集中部下軍隊の移動やら着々戰備を整へつゝあり、自力恢復の望を失つた學良は今や中央の命ずるまゝに動かんとしてゐる

人民に對する責任を大公報が官憲に要求

（天津五日發國通）山海關事件後支那各紙は連日その社說に於て軍事當局の所謂對日抵抗は消極抵抗なりとその軟弱を詰り、國土將に亡びんとす唯だ積極抵抗あるのみ、人民一致團結奮起し、積極行動に出でよと筆を同して叫んで居るが、本日の大公報は官憲當局の人民に對する責任と題し官憲の無責任を難詰して左の三項の要求を掲げた

一、各市縣當局は責任を以て正確な情報を發表し人民の進退去就に便ならしめよ

二、官憲は責任を以つて人民を保護せよ

三、當局の政策は軍の機密以外公開せよ

閻錫山も徹底抗日

（天津五日發國通）閻錫山は山海關事件の報に接するや徐永昌等各將領を召集し抗日策を協議の結果中央の命を待ち三一山西、綏遠の援軍を動員し學良を援け徹底的抗日に決した

國府今年の初政治會議

何等具体案を決定せず

（天津五日發國通）國府は三日今年最初の重要政治會議を開き、山海關事件に關し對策協議したが、蔣介石、宋子文等未だ歸京せず決定を見るに至らずして散會した、席上三中全体會議の決議に基きあくまで積極的行動を主張した者も尠からず、非常な緊張を示したが蔣介石は自重論から未だ脫却してゐないやうである

桑島總領事歸任

（天津五日發國通）桑島天津總領事は上海方面視察旅行中の所山海關事件突發のため昨夜十時廿分津浦線で歸津した

政府の對議會策協議

（東京五日發國通）政府は休會明け議會に臨むについての事務的對議會策に關し柴田翰長、堀切長官を中心として對策を考究してゐるが政府としては今議會は大體に於て無事通過を見り得るとは信ずる政友會の態度未だ明確でな爲め政府より提案する重要案は成可く議會劈頭に提案其他のものも成可く速かに案し議會に愼重審議の期間充分ならしめると言ふ方針探る事になつてゐるが各省り提案する法案の如きも內に廻附されて來てゐるもの十件足らずで豫算案と共に頭に提案する尨大なる公債行に關する公債法案の如き未だ內閣に廻附されてゐなので法制局に於て法文の整をする暇もなくなる惧れあとして近く各省に議會提出法を至急內閣に廻附するやう促し速やかに事務的對議會を整へる事となつてゐる

民政黨の對議會策

（東京五日發國通）民政黨は十日初幹部會と豫算に對する議員の聯合打合會を開催し議會懇協議の上廿一日の黨會にて宣言決議と總裁演說て黨の態度を闡明するが今議會の中心たる財政問題に町田筆頭總務小川鄉太郎、崎、小倉氏等陣頭に立ち論を試みるが目下の所非常時算の性質に鑑みこれを承認その代りに今後の財政を常に復しやうとの希望條件づで民政黨の對策を基礎として財政建直しを主張すべく特に爲替安定と赤字を減じて信用增加を計るやう强調するであらう、其の方法として成程の增稅も社會政策上當然だとの意見もある

中銀の毎週平均額

中央銀行紙幣毎週平均額表次大同元年十二月十六日より同廿二日に至る週

行額	一四三、〇八六、九七八、八〇八
準備	七五、三四〇、七九三、九五五
保證	六七、七四六、一八四、八五三

人事往來

▲後宮步兵少佐　五日午後七時五十分來京

▲孫輔忱氏（吉林實業廳長）同上

▲多田少將（滿洲國軍事最高顧問）六日午前八時來京

▲久下沼監察官（關東廳警視）同上

▲張燕卿氏（實業部總長）同上

▲張弧東氏（中東海林採木公司理事長）同上

▲劉佩忱氏（暫編警備第二軍第五支隊長）同上

謹賀新年

吉林站

柴元正一郎

吉田貞二

趙雨田

豐明殿に於ける新年の御宴
優渥なる勅語を賜ふ

〔東京聯合〕天皇陛下には新春を壽ぐ御恒例の諸儀を滯りなく進めさせられ、五日正午には宮中豐明殿に内外の臣僚約八百名を召され晴れの新年宴會を催させられた、この日秩父宮、高松宮、閑院宮各殿下始め皇族方並に御召しの光榮に浴せる

東鄕、山本兩大勳位、齋藤首相以下各國務大臣、倉富、平沼正副議長以下各樞密顧問官前官禮遇陸海軍大將、親任官以下勅任待遇以上の文武官及びトロヤノフスキー氏始め外國大公使等何れも大禮服又は正裝晴れやかに午前十一時過から相前後して參内、式部官の誘導によつて豐明殿に參進所定の席に着いて　陛下の出御を御待ち申上げたやかて同十一時四十五分　陛下には陸軍大元帥の御正裝に大勳位菊花章頸飾御佩用、天機いと麗はしく林式部長官、一木宮相御前行、鈴木侍從長、奈良武官長以下の供奉員を隨へさせられ各皇族方扈從して出御、中央の玉座に着御あらせられた、かくて陛下には優渥なる勅語を賜へば齋藤首相は群臣を代表し、露國大使トロヤノフスキー氏は外國使臣を代表して恭しく奉答、次いで御宴に移り豐樂長以下宮内省樂部員の奉仕する芽出度き萬歳樂、延喜樂の演奏中に　陛下には親しく玉盞を御手に遊ばし給ひ一同酒饌を拜受し新春聖壽の無窮を奉祝して一時過ぎ感激のうちに退下した

凱旋將軍多門中將 故國への第一歩
全國に凱旋メッセーヂ

『宇品五日發國通』多門師團凱旋の夕映丸は當地に到着し萬雷の如き官民の歡迎に師團長以下幕僚は故國に第一歩を印した、之より先夕映丸甲板上で阿南侍從武官の聖旨傳達式が行はれ侍從武官から　天皇陛下には第二師團の勞苦を思召されその勞をねぎらはせ給ふ旨の聖旨を傳達するや多門將軍は聖旨を拜受し益々奉公の誠をつくす事を奏上し、終つて駐滿軍の軍狀を御報告申上げた、斯くて多門將軍は棧橋構内に設けられたマイクロフオンの前に立ち凱旋のメッセーヂを述べ、併せて國民の銃後の熱誠を感謝した、右放送は斯くて全國に放送された

多門中將を歡迎盛大

〔東京國通〕多門中將が七日午後八時入京するので閑院宮參謀總長は御名代として眞崎參謀次長を品川驛頭に御差遣になり、荒木陸相、林教育總監各參謀官も出迎へた

ポグラニチナヤ市民 皇軍を大歡迎
關慶線部下の武裝解除

〔ハルビン五日發國通〕ポグラニチナヤ原田大尉よりの特務機關に達した電話によれば東部線戰況左の如し

馬場大尉の指揮する裝甲列車は五日午後三時ポグラに進入し竹本枝隊の主力も間もなく到着の筈、ポグラ市中は頗る靜穩にして市民は滿洲國旗及び歡迎旗を掲げ日本軍の入城を歡迎せり、ポグラの關慶綫は歸順の意極めて濃厚にして五日午前に於て我軍の末藤參謀と會見、部下三千六百名の武裝解除を承認せるも彼の兵一千名は東寧方面に退却せり我軍はかくて無人の野を行くが如くポグラに進入し原田大尉以下政治工作員直ちに政治工作に着手せり露國側とも圓滿

諒解を遂げて

〔ハルビン五日發國通〕東支東部線兵匪討伐に出動中の第〇〇聯の先驅逐裝甲列車は途中沿線の匪賊を掃蕩しつつ四日午後四時露滿國境ポグラニチナヤの手前約五里の地點小綏芬河に進入した、又穆稜鐵道支線の沿線を掃蕩しつつ前進した我が裝甲列車も四日午後四時時を同じうして八面通に到着した、斯くて今次の討伐は極めて順調に進捗中で東支鐵道當局との關係もよく、

皇軍が穆稜に前進するや直ちに東支側では日本軍の警護下に四日より二往復客列車を穆稜まで運轉して居るが皇軍のポグラニチナヤ入城と共に直ちに東部全線の列車を運轉すべく我軍と打合せて時間表を作成して待構へてゐる

關慶綫歸順
東支國境問題圓滿解決

〔ポグラニチナヤ秋田國通特派員五日發〕四日小綏芬河驛よりポグラ市に歸還したる關慶綫の代表に對し關自ら來り敬意を表すべき旨傳言したるに五日午前七時關は柳團長以下十六名を從へ來つて竹本枝隊長に會見を申込んだので、坂間特務機關長等は小綏芬河特警所内に於て午前七時半から會見し竹本枝隊長の提示せる

一、關旅長は歸順の意を表すべし

一、ポグラ市民の生命財產及關の部下に對しては責任を以て保護を與ふべし

一、第廿一旅は武裝解除して指定の場所に集合皇軍の入城を待つべし

一、我軍の命に服せざるものに對しては斷乎ある處置に出づべし

以上の條件並び建國以來今日に至るまでの滿洲國の經過について末藤參謀より委曲說明をなしたる所關も皇軍の意を諒解し『日本軍先遣隊長の命を遵奉し歸順の意を表すべし』とて今日に至るまでの歷史を述べ『旅長の職を辭するは非常な苦痛事なるも自分としてはこの際敢てこの苦痛を辭するものではない、部下は責任を以つて慰撫し以て日本軍の圓滿入城を計るべし』と誓ひ次いで商務會代表は理解ある皇軍の取扱ひを感謝し併せて今後の指導方を懇願したるに對し我方は重ねて皇軍の作戰行動及滿洲國建國の意義について縷々說明、斯くて會見二時間の後關は我方の提出條件全部に承服、皇軍の入城準備を整へるため午前十一時小綏芬河驛發ポグラに向つた、午後三時我竹本枝隊は同道ソ滿國境のポグラに入城、驛頭には關旅長以下市民代表之を迎へ、驛前の廣場には三千六百の關軍武裝を解いて順軍の入城を歡迎、恭順の意を表した、皇軍は萬一に備へるため山砲及び機關銃隊、步兵部隊を下車せしめ竹本隊長は歸順兵の閱兵を行ひ、此處に

東部國境問題は何等の蹉跌なく圓滿迅速に解決せ民は始めて業に安んずるを得て絕大なる感謝の意を表してゐるなほ竹本枝隊は午後三時ポグラ入城と共に直ちに兵營に赴き關軍の武器を押收した山砲四、迫擊砲二、重機關銃、小銃三千、槍二千

輸組の歲末大賣出し 二十萬圓を突破
さて福運はどこへ？

新京輸入組合加盟店の福券附歲末大賣出しの賣揚高は豫想外に多く二十萬一千一百圓の巨額にのぼつてゐる福券の抽籤の結果福運はどこへ行くや 6

園部〇隊 密山を攻擊
避難民下城子に集る

〔下城子五日發國通〕磨刀石より徒步强行軍で二日午後十時穆稜に到着せる園部枝隊は〇〇團司令部と作戰打合せを完了し、三日午後四時下城子著五日早朝行動開始密山攻擊を開始したが、密山方面よりは避難民續々下城子に來著、我軍に救助方を懇願して來たので園部枝隊にて收容穆稜に後送した

歸順を表明
綏芬河旅長

〔ハルビン五日發國通〕中國側の情報によれば在綏芬河旅長は哈市護路軍司令部に向け歸順の意を表明し來れりと

東部線穆稜まで開通

〔新京五日發國通〕東部線旅客列車は五日穆稜まで開通することゝなれり

東部線延長運轉

〔哈爾賓四日發國通〕中東東部四列車は其儘穆稜まで延長運轉す、海林發午後七時四十五分穆稜着翌日〇時三十五分、尚五日以後は哈市穆稜兩方面より運行し第四列車は哈市發八時二十五分着第三列車綏稜發二時二十五分哈市十九時五十分着とす

追つて本列車車輛は出先日本軍に於て保留するが如きなき樣中東側より依賴せり

白系の露人 極度に虐待さる
穆稜方面で今迄

〔下城子五日發國通〕昨年末以來第三インター共產黨員は匪賊と呼應し穆稜以東の白系露人鏖殺の計畫を進めつつあつたので白系露人は戰々兢々たるものがあつた所、去る三十一日穆稜炭坑に於て白系三十名を監禁、內僧侶一名は日本軍と連絡ありとの嫌疑で虐殺されポグラチナヤ方面にて白系男女四名匪賊の爲め虐殺されたり

奉天驛内で爆彈發見
幸ひ不發

〔奉天國通〕四日午後六時五分頃奉天驛構内驛長室手前の停車場司令部に通ずる階段に嚴重裝置の目方約一貫五百匁の强力な爆彈が混雜にまぎれて何者かのため持込まれてあるのを係員が發見した、右は學良便衣隊の所爲らしく幸にも不發に終つたが、同夜九時奉天發の列車で長谷部〇團が堂々內地に凱旋せんとする直前でもあり、又山海關事件で極度に緊張せる折柄とて此の爆彈事件は在奉軍部では犯人逮捕のため直ちに非常線が張られたが未だ逮捕に至らない

輝く政始の儀
四日午前十時に 宮中東一の間で

〔東京聯合〕わが國の政治行事に榮えある政始の儀は四日午前十時宮中東一の間に於て天皇陛下出御の上いと嚴肅に行はせられた、この日午前九時四十分齋藤首相以下各國務大臣、一木宮相、倉富樞密院議長は通常服又は通常禮裝に威儀を正し參內、東一の間に參進すれば　陛下には陸軍御通常禮裝に大勳位副章御佩用、林式部長官前行、牧野內府、鈴木侍從長、奈良武官長以下供奉して出御、諸員最敬禮のうちに玉座に著御、牧野內府、鈴木侍從長、奈良武官長は扉內に候す、他の供奉員は扉外に候すかくて諸員本位に着けば柴田內閣書記官長以下內閣書記官、關屋宮內次官以下宮內書記官扉外に候し先づ齋藤首相より久邇神宮祭主宮殿下より奏上の神宮の事を奏し、次いで各廳の事を奏して退下、續いて一木宮相は皇室の事を奏上終つて　陛下には天機麗はしく入御こゝに政始の御儀を滯りなく終へさせられた

藝術の日本を 滿洲を紹介

〔東京電國通〕陸軍當局では王道樂土の滿洲國を築くまで匪賊の砲煙にむせび迷つた三千萬民衆に眞の平和の喜びを享受して貰ひたいと言ふので新春を期して全日本の一流藝術家を總動員して在滿將兵の爲め先づ慰問を行ひ且つ滿洲人に日本藝術の粹を委嘱して武の日本より藝の日本、情の日本を味つて貰ひ、藝術を通じての日滿交驩の成果を擧げることゝなつた、動員される藝術家は文壇、劇壇、畫壇、樂壇の一流大家を始めスクリーンに躍る新人、さては落語浪曲、漫談等の高座藝術の名人までも網羅し軍部では新春御用始めと共に直ちに人選にとりかゝり遲くも陽春からボツボツ渡滿する筈だが既に軍部との諒解し[illegible]文壇の驍將直木三十五、[illegible]長松本幸四郎一門等が擧けられてゐる

勞働愛國號
石川島造船所自彊組合が獻納

〔東京五日發國通〕石川島造船所自彊組合では勞働者自身の手で國防飛行機を建造し是を愛國勞働號と名付けて軍部に獻納す可くかねて友誼團體との間にも話を進めてゐたが同工場では五日仕事始めに全工場二千五百名の勞働者が全一日の勞働を奉仕し其の賃銀を取まとめて飛行機建造資金に獻納することゝ五日午前七時半工場內に勞働奉仕の儀式を擧行したが、荒木陸相、松本警保局長、岸、服部兩中將も特に參列、荒木陸相は約廿分に亘り激勵演說を試みた

第三旅團から市民へ謝電
國境を越ゆるに際し

安東から長谷部第三旅團長新京時局後援會長宛左の電報を寄せた離滿に際し在滿中の御好意を感謝す市民各位に宜しく御傳へを乞ふ尚森尻步兵第四聯隊長からも同樣滿洲の國境を離れんとするに當り謹しみて各位の御健在と御發展を祈る在滿中は勿論出發に際し寄せられたる數々の御同情唯々感激の外なし將兵一同幸ひ士氣益々旺盛なり市民各位にお傳へを乞ふ

新京察警署 司法係員緊張をゆるめず

新京署司法係では新曆年末の大警戒に綿の如く勞れてゐる体を休める暇もなく目前に控えてゐる舊曆年末警戒に早くも手を染め倉田司法主任指揮の下に一同は着々として其の步を進めてゐるがこの舊年末迄には是非共檢擧せねばならない某重大事件の犯人潜入を探知し大童となつてゐるが此處二三日中にはこれの逮捕を見る模樣で刑事連は本年の初手柄をせんものと腕に撚りをかけて奔走してゐる

武藤全權の催宴

武藤全權は五日夜官邸に新年宴會を催したが特に席上赤木常盤夫人の琴西四方山師の尺八合奏などがあり出演者は面目を施した

お正月用の魚菜が六萬五千圓弱
新京市民の腹へ！

年末二十五日から三十一日迄の一週間市場及びスピード屋に於て賣捌いた魚菜類の總金額は驚く勿れ六萬四千八百八十二圓の巨額に達しこれだけが市民の腹の中におさまつたわけである

カフエー、バー取締ゆるむ
但し入口の構造だけ

關東廳に於ては去る十一月下旬管内各署の保安主任會議で協議の結果、取締規則の一部分の改正をけつた事は既報の通りであるがなほカフエー、バー等の入口に關し高さ七尺內側幅六尺の堅苦しい規定を今回全部撤廢する事に決定し新京署保安係は六日各派出所にそれぞれ通達した

毎年恒例による消防出初式
六日滯りなく終る

新京本年の消防出初式は陽光に惠まれた映晴日和の六日午前十時から擧行され定刻隊員一同は消防隊裏庭に集合高山新京署長增田監督及阪東平林兩副監督が隊員の服裝檢查を行び引續いて機械器具の點檢に移り終つて高山署長より一場の訓辭があり增田監督が隊員一同を代表してこれに答へ意義深い出初の式を終了したこれより一同は新京神社に參拜して鎭火の祈願をこめ警官と共に白、赤、青色とりどりの布に火の用心と認めた旗を林立した二台のオートバイ及ポンプに分乘市中を限なくねり廻つて防火宣傳を行ひ正午頃同隊裏庭に引揚げて解散同事務所內に準備された祝宴で祝杯を擧け完了したなほ消防演習は新京驛前廣場にて行ふ計劃であつたが時節柄水不足の爲本年は特に取止めとなつた

ボーイを使ふに御注意が肝要だ
こんは不埒なのがある

最近の邦人市民の殆んどは安い給料で自由に使用出來る滿人ボーイを歡迎し、料理店、飲食店は

=勿論= 各家庭に於ても一樣にボーイを使用して居るが、ボーイを使つてゐる處は特に細心の注意を拂はねばとんだ損失を蒙る場合が往々ある、舊臘末もふとどきなボーイが發見され新京署でお目玉を頂戴した、市內羽衣町二丁目松崎某は約二ケ月程前から一人のボーイを雇入れて市場の買物に使用中、二、三日前市場の和盛祥支店、及增盛德鮮魚部から二百圓余の金高に上つてゐるので非常に打驚き早速主人が同店に赴き調査した結果、ボーイが兩店帳場と結托し買物した

=金高= より以上多額につけ書きをなし、月末の計算が濟んで餘分の金高だけをボーイがもらつて着服してゐたものであることが發覺した、なほ兩店帳場の話に依ると料理店、カフエー、飲食店等のボーイは殆んどがこういふ手段を構じてゐるそうで、ボーイ一人を買物に出す事は甚だ危險であり考慮を要する事である

日の出を拜する集ひ

毎週日曜日に西公園で日の出を拜する集ひ、八日には六時二十分からであると

新賓馬店

新京曙町二丁目四居住の江口萬龜夫氏と金孟賓氏が共同し其筋の諒解を得て住吉町五丁目に新賓馬店といふを開設し江口氏が經理となり專ら家畜の買付委託事業を營むことになつたが資本金は一萬圓、顧問として宇戶獸醫などが助力しこれ迄新京で家畜市場の成績の面白くなかつたのを今度は充分成算もあり新京で年々賣買される家畜三、四萬頭位の半分ぐらひまでは同店で取扱ふと江口氏は關原地方で經驗と連絡があるから自ら力强く語つてゐた

ラジオ放送
一月七日（土）番組　奉天放送局

奉天後五、〇〇　錢行金銀相場　レコード　商業通信社

新京後五、二〇　演藝

新京後五、四〇　講演「年頭所感」　新京特別市長　金璧東

東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯

新京後六、二〇　時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース

新京後七、三〇　ニュース（英語）

新京後七、四五　ニュース（露西亞語）

新京後八、〇〇　ニュース（朝鮮語）

新京後八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京後八、三〇　時報

新京後八、三一　挨拶　侍從武官長　上將　張海鵬

奏樂　執政府軍樂隊

東京後八、四五　ニュース　東京中央放送局編輯

『年頭の御奉仕』

「金州自園產澤庵」

自園產の味本位かの「たくあん」です舊年の御愛食を謝し大同二年を祝福する爲年頭の御奉仕を致します

『五百樽を限り 一樽に付七圓八十錢』

十樽以上の御注文は別に御相談に應じます

金州遼東農園 直賣所　都商會　新京大馬路五馬路角　電話三七八六番

各種印刷

新京に印刷工場を設けました

各種印刷　近澤洋行印刷工廠　新京入船町二丁目一七

明治四十四年創業　紙と印刷　朝鮮工場　京城府長谷川町七四　電話本局一九八九、四三　二七五、三一七九　九〇七番

大正七年創業　紙と印刷　哈爾賓工場　埠頭區中國十四道街　電話四一八七番　三七八四番

新京愛媛縣人會

左記の通り新年宴會相催仕候間友人御誘合せの上奮つて御出席相成度廣告仕候也

一、日時　一月七日午後五時

一、場所　富士町千鳥

一、會費　金五圓

但豫洲講新人會員會費不要

追而在新京縣人にて未入會の士は此際入會御賛協の榮を賜度御勸誘申上候

申込所三笠町三丁目　松田洋服店　電二一四六番　興榮號　電二五一三番

告

今般都合に依り幣店員松谷精一、海老名忠司の兩君を退店致させ候に付き幣店とは一切關係無之此段謹告候也

新京蓬萊町　調辨所　千田三郎

解雇廣告

前營業主任　須坂良次

右者今般都合ニヨリ退職仕候ニ付爾今當店トハ一切關係無之候也

昭和八年一月四日

新京日本橋通七十四　雙發洋行印刷部

各位

各位

曙光溢るゝ新春をお迎ひさせて頂きました事を心からお喜び申上ます尚ふ本年も舊倍の御引立御鞭撻を賜り度謹而御願ひ申上ます

洋服材料商　松田洋服店　新京三笠町二丁目　電話二一四六番

今回左記へ開業致しました、暖房、採光換氣、何れも皆樣の御滿足を得る事と存じます、何卒宜敷御引立の程御願申上ます

新京三笠町三丁目一〇（正金銀行裏）　杉山旅館

店員募集

年齡十八、九歲以上二十五歲までの身體强健にして食料雜貨販賣に經驗ある青年三名を急募す　本人來談あれ

但し市內に確實なる保證人を要す

新京新舞屯新京俱樂部　滿洲國政府指定購買會

女事務員募集

本人來談市內に確實なる保證人を要す

ダンスホール　新京會館

謹告

年內に教授致す考への處當地官廳の正式指令無き爲教授廣告を取消します、正式許可あり次第御教授申上げる考へに付惡しからず御了承下さい

新京ビル二階九號にて　大連市浪速町銀座より　キタザワ・アカデミー社交ダンス研究所　公認教師　北澤照夫

忽然として生れたる特急鳩食堂は他店の半額主義をモットーとして皆々樣の御滿足を永久に保ちたいものです

壽司……御一人前三十錢

辨當用卷壽司……一本十五錢

親子丼、木葉丼、天丼、鍋燒うどん、鴨なんば、おかめ……二十錢均一

朝食、晝食、夕食　各々十五錢より

洋食類は何でも二十錢です

出前は特急です

各位樣　特急　鳩食堂　祝町二丁目消防隊東側　電三八四六番

凄艶紅涙双（せいえんこうるゐさう）

（誌上映畫）　鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

（一七二）

「式部殿は奥羽同盟の前途、憂ふるに足らず、と申されるが、遺憾ながら、手前は、御說通りに、樂觀は出來申さぬ。阿部の申す如く、早くも、動搖の兆しが見える烈藩同盟に何の據りどころあつて今更、急に走せ加はらうとなさるのか、友藩の義を重んぜよと云はれるが我々は、藩の前途をみすみす窮にさらしてまで、仙臺や庄內に盡すべき義理があらうか感情に走らず、威壓に屈せず、心を靜めて、藩の將來を考ふべき時ではムらぬか！」

雄馬は毅然として、沈通な語調をつゞけ當時の大勢を論じ、薩長の伸びゆく勢力に及び、此の際藩の安泰を保つためには、目をつぶつて、薩長と提携して、時世の推移に伴つてゆかねばならぬ、須らく小義を棄てゝ、大義に就くべきだ、と喝破した。

だが、此日、米內の面々は薩長に對する私憤のみで、佐渡の主張に同意した連中、雄馬の說を、皆まで聽かぬうちに、口をそろへて異議を申したてる。

それに對して、織之助は、咳込みながらも、格堂公以來の南部藩の勤王を諄々と說いて、反省をうながす、阿部は泣いて、佐渡の偏見を苦諫した。

併し、一徹な佐渡は、斷然薩長の增長を罵り、仙臺藩との義理を重んじて所信を曲げず、飽くまで、歸藩を主張する。式部はすべて、國老の意見次第だ。

甲論乙駁。——既に、初夏の長い日も暮れ果て、燭臺の灯も晃々と點ぜられたが、兩派互ひに下らず、愈々、議論は沸騰してゆくばかり。——

折から、それまで、腕を拱いだまゝ、ぢいつと考に沈んでゐた板垣草陰は、つひに、

たまりかねたが、佐渡に向つて、敢然反對意見を申したてた。

「今日、御歸國を急がれることは、百害あつて一利なしとでも申さうか。たよりなき奥羽同盟に加盟されるなど、飛んでもない愚擧でムらう。——私憤は私憤　大義は大義。藩の興廢を双肩に擔はれる貴殿には、この邊、とくと御勘考召さる必要がムらう」

草陰は、佐渡の儒學の師だそれだけに、おのづから、語氣も鋭い。

だが、佐渡は、いまや、女鹿、星合、阿部の三士の理路整然たる言葉に、問ひ詰められて異常に昂奮してゐた時だから、草陰のおし付けるような調子が、ぐうッと、癇に障つた。

「草陰、何を申すそち如きは口を挾むところではないッ！」

「やッ、それは、心外なお言葉——」

「だだまれッ！腐れ儒者め！おのれ、よくも、歸國說に反對したな！」

云ひさま極度に激怒した佐渡、やをら、傍の太刀引さげるや、憤然、草陰に迫つて、まさに、手討ちにせんず形勢！

「あッ！」

あわても、縁先に飛び退つた板垣草陰、わなわなと震へながら、平身低頭。

「も、もう決して、異說を申しませぬ。ど、どうぞ、御宥免を。——」

たわいない儒者先生、最初の意氣込みはどこへやら、忽ち、へなへなと、變節してしまつた。

「うむ、向後、余計な事を申すなよ。——さて、各、いつまで議論致しても果しがない予は斷然、歸國に決した。明後日、出發するとに致さう」

云ひ棄てゝ佐渡は、そのまゝ奥へ入つた。

日日案内
三行　一回金五十錢
被雇度　五行　一回金三十錢
十行　一回金八十錢
姓名在社　一回金一圓五十錢
御申込みは電話三三〇〇番　一回金十錢增

貸家　店舗及住宅向き御希望の方は
東一條通り二十三番地　原田商店　電話三一四〇番

ほねつぎ專門　今辨慶療院　新京室町公學校前

上等下宿空間有り　下宿問合せは組合事務所
東五條通り　滿日館へ　電話三八〇二

洋帳簿　各種製本專門
三笠町三ノ九　三省堂製本所　電話三三三四番

便利部新設お知らせ
今度び『お使ひ』專門の店　便利部が生れました
如何なる『お使ひ』でも迅速に叮嚀に確實に致しますごしく御利用下さいませ
電話三八六八番　東三條通八　亞東公司便利部
向料金は附屬地一〇錢　城內一五錢です

都山流　尺八指南
初心の方歡迎す
師範　西田方山（ヤマトホテル裏）

印刷　長春朝日通　三友社　電話三四三八番

お知らせ
報知新聞の取扱店は電話三九三三番
新京大和通四七番地　今田商店　今田定四郎

造花及生花　神佛具　道具一切
加藤葬儀社　新京祝町二丁目　電話三一〇八番

滿洲國政府公報取扱　東朝、大朝兩新聞社發行物一切
大阪　東京　朝日新聞　大滿蒙新聞
朝日會　栃尾新聞舖　東一條通二二　電話二三四二番

人事
▲職業紹介　無職ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞動保護會

日本刀劍（鑑定無料）
新古刀、研、白鞘本造拵付軍刀調製及賣買打粉、丁字油、（錆止）（槍と薙刀）
長春宮町小學校前　井上示現軒　電話三三〇三番

ロシヤ料理　西洋料理　支那料理
東四條通一六　レストランモスコウ　電話三七三三番

小口金融　月賦、日賦、其他御相談に應じます
新興社　祝町二丁目四番地（西本願寺向右隣）

急告　襖張替新調　迅速、叮嚀　大勉强
長春東二條通十六番地　文藻堂青井表具店　電話三四六四番

大阪商船出帆
門司、神戸（大阪）行（每偶數日午前十時出帆）
うらる丸　一月八日
はるびん丸　一月十日
香港丸　一月十二日
うすりい丸　一月十四日
ばいかる丸　一月十六日
亞米利加丸　一月十八日
●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案內所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃一割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店
大阪商船大連支店

一、昭和八年日記
一、新年ヱハガキ
一、歌かるた
一、小供用かるた
一、組合せ文具
其他種々取り揃いました
ミツワ屋書店　吉野町二丁目　電話二三三一番

食道樂　とどろき　電話三九三六番　宴會歡迎

灘御影嘉納　合名會社釀造

大樽詰　一斗壺詰　五舛壺詰

京都本場
天王寺蕪、千枚漬　京都の……水菜漬　長崎カラスミ　勝栗　新千切大根……
蒔繪付、重箱、會席膳　火鉢付飯台、角丸各種　吸物椀、脇取、茶盆、給仕盆
日用品雜貨荒物なんでも有る正月用品立ち處に揃ひます
菊正宗特約　白米、木炭
㊥洋行支店　吉野町一丁目　電話二六四〇番
市場支店　電話二五二一番

取引先信用調査　緣談調査及紹介　各種企業調査　人事秘密探偵　家屋及商品紹介　經濟事情通信
大正十年創業　全國各地同業聯絡
秘密嚴守　損害豫防機關
新京老松町十一番地　新京興信公所　電話三三五〇番

新荷着
作業服
コールテン上下服
セーター
ジャパー各種
其他既成服裝類
三笠町二丁目　西山運動具店　電話三四四六番

御藥の御用は是非御電話にて
電話　二四七六番　二六〇二番
吉野町二丁目一番地　東亞號藥房

疊
公學校門前角　各種疊表　山村疊製作所　電話二二七九番
日本一　サカエ式　機械床

杉丸太　在庫豊富
足場用杉丸太　滿洲人向杉丸太　各種
精々勉强可致に付多少に不拘御注文願上候
杉丸太專門　大連市山城町四　大正洋行　電話㊄七八五五番

銘酒　月ヶ瀬

釀造元
森川長春支店　電話三八〇八番　曙町二丁目

御料理　泰東
新築の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げてゐます、是非一度御出向きを願上ます
富士町二丁目　電話二四七四番

質
流質品各種　洋服オーバ其他色々
本店大連
貨出勉强　保管確實
新京祝町二丁目七ノ四　奴すし東へ入る　博多屋長春支店

お待たせしました、弊店獨特の『スターシユース』これこそ理想の防寒靴です澤山着きましたから一時も早くお求め下さい
和洋雜貨　新京吉野町二丁目　廣春洋行　電話三〇五二番

窯元の店
有田燒卸小賣　日田漆器代理店　香蘭社販賣所
㊂金龍洋行　吉野町二丁目消防隊裏　電話二七五五番
支店　ハルビン、モストワヤ　電話四五九二番
銘茶、富貴紙原價發賣

盛京時報　本社奉天　新京支社　祝町二ノ二〇　電話二五一七
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

各種撫順炭　指定販賣
新京日本橋詰　泰利號　電話三一六九　二七六〇番

親切で叮嚀
新年會は三福に極めた
會席御料理　三福　西五馬路　電話三八七九番

御料理　梅月　新京三笠町三丁目　電話七二八四番

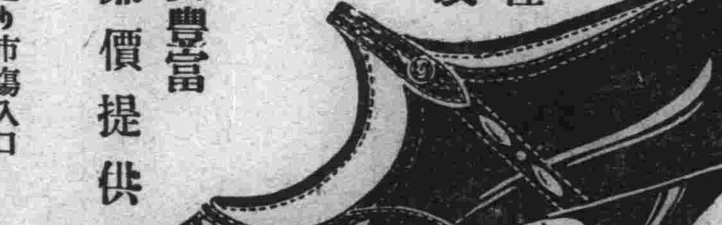
新年會の御宴席は是非嬉野へ御用命の程を
特に勉强如何樣にも御相談に應じます
勉强第一　料理は江戸前　美妓好感　サービス滿點
會席お料理　東京　嬉野支店　三笠町三丁目　電話三八〇三番

開店廣告
新米の店が市場で開店すべて新鮮な海產物揃へ赤赤の落ちそうな珍品山積
お茶鰹節乾物類各種
新米店のお勉め振りに大變御好評を頂いてゐます是非一度お立寄りください
市場內　海產物乾物商　濱崎商店

唸を生じて大評判　不況を外に大發展
鰻かば燒ドどんぶり　御壽し仕出し
食道樂　青葉　三笠町二丁目　電話一九四二番

天下の銘酒　黑松白鹿　到着
何卒忘年會等に御利用御味の程願います
割烹　藪虎　電三四四五番

大衆向の既製品
冬の洋服類が揃ひました
背廣三揃服　十五圓位より
詰衿服上下　十圓位より
オーバーコート　十圓位より
婦人コート　十圓位より
●オーバー裏用の毛皮も格安で御座います
祝町三ノ三（開花前）　三浦屋質店內　電話三七七五番

荷着
淑女紳士　お子達用　オーバ各種　毛皮及革製　防寒用　オーバ　優良革靴　各サイズ豊富　廉價提供

日本橋通り市場入口　百貨店

石炭　仁和洋行　電話（一）五八二　（三）四七一二

新京日日新聞

發行所 新京永樂町四丁目一番地 新京日日新聞社 電話三三二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

贈物の撰擇は中谷時計店で 只今半額割戾し 年末大賣出し中

山海關事件に關する日本代表部聲明書內容
=五日聯盟事務局に到着=

〔ジュネーヴ五日發國通〕山海關事件に關する日本代表部の聲明書はパリーより五日聯盟事務局に到着した、右は事件の端緒が何柱國軍の挑戰的行動に基づくものなる事を說き何柱國軍の停戰協定違反より山海關占據に至る事情を縷述したもので其要旨は左の如し。北平に於ける我當局は張學良が最近盛に軍隊を滿洲國方面に動員しつゝある事は滿洲國の治安を脅かすものであるとの見地より、張學良に對し再三說得するに力を盡したが右の努力は水泡に歸した、斯る緊張不安の際に於て山海關に不快なる事件が勃發したのである、支那兵が山海關に於ける日本軍憲兵隊分遣所に爆彈を投じ同時に他の支那兵亦憲兵隊長宅に向け射擊を爲し、更に滿洲國々境警備隊屯所にも爆彈が投げられた、事態が極めて危險なるに鑑み日本人居留民の生命財產の安全を期する爲め支那軍との間に事件に關する和平的解決交渉を即時開始したのである、交渉の結果翌日協定が成立し日本軍が鐵道並に日本人居留民保護の爲に南關の治安維持に當る事となつた、然るに協定成立直後日本軍が南關の警備に向ふや突如支那側から發砲爆彈を投じ其の結果中尉一名兵二名戰死を遂げた、茲に於て日本軍は之に應戰し一月三日午後二時遂に山海關を占據したのである

以上述べる處に依り帝國政府の國際的地位を傷けんとする支那側の行爲の挑發的行動に基づく事明瞭である、殊に張學良軍隊の熱河移動に對しては從來再三異議を提出して居るにも拘らず今回の事件が熱河への軍隊移動計畫に關連して惹起せらるゝに至つたもので日本代表部は極東よりの誇大なる情報に誤られぬ爲本通牒を聯盟各國に廻附せん事を希望す

萬里の長城の花と散つた勇士を現場で火葬さる

〔天津六日發國通〕軍司令部發表、山海關の戰鬪に際し名譽の戰死を遂げた皇軍の犧牲者は本日午前八時三十分同地に於て火葬に附せられ萬里長城山海關の花と消えた勇士の靈に對して鈴木〇團長以下衷心から哀悼の意を表した

出淵大使米國に說明
山海關事件と我態度を

〔ワシントン五日發國通〕出淵大使は五日國務省にスチムソン氏を訪問して左の通り說明した

日本政府は山海關事件を地方問題とし事態不擴大に努力してゐる日本軍は支那領土に更に進出を計畫してはゐなかつたがこの方針が遂行されるか否か一に支那側の態度にある張學良が攻擊的態度を持續すれば如何なる事態を惹起するかは誰も豫言出來ないと

張學良が前線の將士激勵に
悲壯なる電報を發す!

〔天津六日發國通〕山海關で慘敗せる何柱國軍並びに前線の各軍に對し士氣を鼓吹する爲學良は五日左の電報を發した

一 日本軍進出國土危き際諸子は大いに奮勵國を救ふべし
一 諸子は國家の爲死を誓つて抗日すべし
一 日本軍の優秀なるは唯飛行機の增援あるのみ決死恐るゝに足らず
一 諸士にして軍規に違反せる行動に出でたる時は銃殺乃至嚴罰に處す

上海救國團体や僞勇軍後援會が
國府及び學良に對して對日絕交を强要

〔上海六日發國通〕上海にある救國團体聯合會及東北僞勇軍後援會は本日午前山海關事件に關し協議の結果對日國交斷絕の擧に出づべしと國府外交部及學良に大要左の如き電報を發した

國府宛=山海關既に陷落し日本軍は更に進入し來らんとす中央は速かに對日絕交を宣言し又聯盟をして規約第十六條を適用し日本を制裁せしむべし

學良宛=過去一年以來失策相次き恥を受け擧國憤慨す、大軍を率ゐて國民の先頭に立ち日本に抵抗せよ、全國民衆は誓つて後援せん、斯くて上海に於ける抗日團体の活動は漸次表面化して來た

國民政府相不變 日本を誣ふ

〔南京六日發國通〕國民政府は昨日山海關事件に關し左の態度を發表した

今次の山海關事件は奉天上海兩事變と軌を一にする日本の計畫的侵略行爲で支那領土の一部を奪ふと同時に支那全土を脅威するもので三中全會の宣言により國民と共に自衛的抗日に邁進するは言を俟たぬさ

山海關事件に關して支那軍隊の配備現狀

〔天津六日發國通〕今日迄に判明せる支那軍の配備狀況は左の如くである

一、熱河に侵入せるもの三個旅で陵南、凌源、平泉に集結中
一、山海關方面に向つてゐるもの步兵四個旅、騎兵二個旅輸送中のもの一個旅
一、太沽、天津地方四個旅
一、北平一個旅、北平南方より一個旅增加さるべく西南地區に騎兵二個旅
一、古北口に三個旅
一、張家口に一個旅

獨逸大使小幡氏罷め 永井松藏氏任命
遲くも本月中發令か?

〔東京六日發國通〕舊臘賜暇歸朝せる駐獨大使小幡酉吉氏は伯林に歸任の意志なき旨を申出たので外相は豫ねて後任者詮衡中のところ前外務次官待命大使永井松藏氏をこれが適任者と認め同氏の出馬を促す事となり、同氏の受諾あり次第獨逸政府にアグレマン要求の手續きを執り、遲くとも本月中次の如く正式辭令の發表を見る筈

待命全權大使 永井松藏
被仰付獨逸國駐箚特命全權大使
特命全權大使 小幡酉吉
被免獨逸國駐箚

灤州に設置 支那軍總指揮部
我軍は飽迄隱忍自重す

〔天津六日發國通〕支那軍は依然連日輸送を續けられてゐるが前線の總指揮部は灤州にあるものゝ如く北平軍事分會發の電報は殆んど全部灤州に集り前線部隊よりの報告も灤州發軍事分會に宛てられてゐる、この支那軍の輸送に關しては挑戰的行爲なるは明らかなるも從來の習慣上直接これを阻止するを得ず我軍當局に於ては隱忍自重してゐる、目下の所我當局としては第二の警告を發する模樣なく、又列國側に於ても事件後支那側が鐵橋爆破北寧線交通妨害の事實あるに拘はらず未だこれに對し何等の抗議乃至干涉を試みず事態成行を監視してゐる

錦州在住民に 鈴木〇團長布告

〔錦州六日發國通〕在山海關鈴木〇團長は我軍占領後の人心動搖を防ぐため大日本帝國軍司令官の名を以て四日夕刻錦州住民に對し山海關事件の眞相を民衆に告ぐとて事件發生による支那の不法行爲は遂に日本軍が正義の劍を執るの已むなきに至つた理由より說き起し二、三日兩日戰鬪より占領に至るまでの經緯を詳述し日本軍には戰線擴大の意圖は毛頭なく各要人協力治安維持に專念すべく故住民は須くその業に安せよ然らば滿洲國の王道樂土は自ら來らんとの布告を發した

平綏線の第十五旅 七ケ列車前線に向ふ

〔天津六日發國通〕昨夜天津を無停車通過前線に向つた軍用列車は七列車で之等は何れも平綏線實化に駐屯して居た姚東藩の第十五旅である

錦州出動の我〇〇隊
五日午後原駐地に歸る

〔錦州六日發國通〕三日以來當地に待機中であつた打虎山駐屯步兵〇〇隊は山海關事件一段落を告けたので一先づ原駐地に歸還する事になり五日午後一時錦州より引返へした

南苑砲兵隊天津へ

〔天津六日發國通〕北平郊外の南苑に駐屯せる砲兵一ケ大隊は天津增援の命を受け大砲十數門を携へ五日午後五時二十五分天津に到着した

我死傷合計百十九名

〔錦州六日發國通〕今次の山海關事件に於ける我軍の死傷者數は合計百十五名內戰死將校四名準士官以下十五名負傷者九十六名と判明した、尚その後判明せる戰死者左の如し

軍曹 松井與八 岩手縣下閉伊郡青笹村
軍曹 小野寺利助 岩手縣東磐井郡門崎村
一等兵 中村利中 岩手縣上閉伊郡甲子村
一等兵 阿部正雄 岩手縣西磐井郡舍礫村
一等兵 下道千太郎 岩手縣九戶郡晃非村

日軍舊正月を期して熱河を攻む
と……支那紙の逆宣傳

〔北平六日發國通〕支那側は日本軍の山海關占領は熱河軍事出動の前哨戰なりとし日本軍は舊正月を期し熱河總攻擊を開始するに決したと詳細なる報道をなし、山海關事件が國際的視聽を集めつゝある折から熱河をもつて依然支那の領土なりとの錯覺を生ぜしめ國際論を刺戟せんとの宣傳を試みつゝあるが支那紙曰く日本軍の熱河攻略法は軍を朝陽開魯其他に分ち日本軍一師團は三ケ旅の滿洲軍を率ゐて前進承德に集結せんとするもので、之が準備の僞山海關增援の日本軍は續々引返しつゝあり。之に對し支那僞勇軍は熱河省境に於て十分連絡を保ち學良、湯玉麟とも頻繁の打合せ頻繁に行はれて居ると

李杜丁超等戰意なく
密山よりも已に退走

〔下城子六日發國通〕密山枝隊は四日午後下城子出發、自動車部隊と協力して長驅上亮子河に進入し五日夾心子に向つて前進中である、同地には相當の匪軍がある模樣であるその後方に在る敵團の敵騎兵は早くも密山に退却中密山方面の李杜、丁超は既に戰意を失ひ眞面目に抵抗する意志なき如く密山城內の敵兵中約五百名の步騎兵は昨午前十一時頃城門を出で三方面に分れて退却を開始した

園部枝隊の一部 八面通入り

〔下城子六日發國通〕園部枝隊の松田〇團は四日早朝下城子を出發、正午過ぎ八面通占領、主力は鐵道輸送により前進したが八面通南方橋梁の修理のため意外に時間をとられ夕刻同地に到着宿營した

ポグラ方面の其後の情況
皇軍の急追擊により敵匪四方に逃げ惑ふ

園部枝隊に囑する松田部隊は四日早朝下城子を出發、早くも八面通を占領、主力は鐵道輸送により前進したが八面通南方橋梁修理の爲意外に時間をとられ、四日夕刻同地宿營を梨樹鎭に退却した、劉萬魁は白系露人二十五名を拉致して二日夜既に同地を逃走し、その部下も又四日夕刻勃利方面に退却した模樣である、支隊は五日早朝騎兵及乘馬討伐隊を梨樹鎭に急派せしめ主力は亮子河南方の橋梁修理の完成を待ち急追する筈である、該橋梁は匪軍の爲二橋節燒棄せられあるも數時間後完成さる、密山支隊は四日午後下城子を出發、自動車部隊と協力して長驅上亮子河に進入、五日夾心子に向つて前進中、夾心子には相當の匪軍がある模樣であるが敵團の敵は密山に向ひ退却中、李杜、丁超軍は眞面目に抵抗する意志なきものゝ如く、密山城にある敵兵中約五百の步騎兵は五日午前十一時頃城門を出で三方面に分れ退却中なるもなほ相當の敵殘留の見込であるが、竹本支隊の主力は

五日午後九時ポグラに進入同地を根據としてゐた關旅の武裝を解除した神速なる支隊の行動によりポグラは兵禍を免れ市民は歡喜して皇軍を迎へた中東東部線は一の破壞個處なく列車の運行可能である

晴れの入京 多門先發部隊

〔東京六日發國通〕多門師團の先發部隊は午後八時二十分品川驛着晴の入京をした、荒木陸相、眞崎參謀次長、近衛第一師團長等出迎へ歡迎の群集數千に達し一行は二重橋前で萬歲を三唱し原隊に歸還する

陶家屯驛附近にはれた匪賊團
一たまりもなく蹴散らさる

〔陶家屯五日發國通〕五日午後二時四十分陶家屯驛を去る西方約二キロの地點附近の樹陰に便衣を着せる騎馬匪賊約八十名(頭目不明)陶家屯驛東南方五豪子方面より移動し來り附近部落に於て馬糧其他を徵發、掠奪し居る旨部落民より急報あつたので、驛長は直ちに右の趣を關係方面に報告すると同時に社員家族を分遣隊內に避難せしめ、驛員警官協力防備を固めつゝあつた折から午後四時廿八分公主嶺から裝甲列車到着したので、午後五時より匪賊に對し攻擊を開始した、匪賊は皇軍の攻擊に一たまりも無く黑嶺子方面に逃走したが尙陶家屯東南方長家臺方面には頭目海龍外四名の率ゆる匪賊約二千集結しあり不逞を企てつゝある模樣である

陶家屯驛の匪報到り
范家屯から援隊出動

〔范家屯五日發國通〕陶家屯に匪賊來襲の模樣ありとて當驛に應援依賴の電話があつたので當地(范家屯)官憲十六名は三百四十六列車で陶家屯に急行した、裝甲列車は午後八時二十五分當驛着待期中である

馬場大尉ポグラ入城
關常先自發的武裝解除

〔ポグラニチナヤ六日發國通〕支線道東部線の反軍討伐の先遣部隊の先頭たる馬場大尉の率ゆる裝甲列車は昨五日午後三時完全にポグラニチナヤを占領した、市內は平穩で市民は日滿國旗を掲揚し皇軍を歡迎し反軍將領關常先の代表十名が自發的に武裝を解除し歸順を申込んだ

松岡全權壽府に直行

〔ローマ五日發國通〕南歐方面巡遊中の途中ローマに立寄りムッソリニ氏と會見した松岡全權は五日午後二時五分ローマ發フローレンスに向つた同地よりジュネーヴに直行する筈である

滿洲國政府が空から宣傳
阿片專賣、租稅減免 國幣、彩票等々

滿洲國財政の基礎確立に三千萬民衆の經濟力恢復に建國以來銳意努力を續けてゐる滿洲國財政部に於ては曩に新に阿片專賣法を制定し「舊制度を改革し又租稅の減免令を公布して經濟力の枯渇してゐる民衆の負擔を減免し中央銀行よりは國幣を發行せしめて滿洲經濟の癌たりし幣制を統一し更に彩票を發行して民衆の福利增進に努力し來りしも其の主旨未だ國內全土に徹底しをらざるに鑑み此度空より大々的宣傳を行ふことに決した、即ち六日より五日間に亘り國內の大都市及地方部落に對し五種七十萬枚のビラを頒布するが之には滿洲國財政部星野總務司長を始め各司長及各科長搭乘する豫定にして飛行機は滿洲國航空株式會社のフナツカー、スリー、エム號が之に當ることに決定した尙航空日程は左の如し

航空日程

一月六日 奉天、大石橋、營口、錦州、奉天
搭乘者=星野總務司長、近藤、山田、長濱、各科員
一月七日 奉天、新京、哈爾濱
同 田村理和科長、山中、岡本各科員
一月八日 哈爾濱、呼海線經由、齊々哈爾、哈爾濱
同 前の一行に齊々哈爾より山梨文書科長加る
一月九日 哈爾濱、寧安、敦化、新京
同 吉林より田中理財司長加はる
一月十日 新京、瀋海線經由奉天
同 孫次長、天野企畫科長搭乘

執政賜宴 滿洲國官吏に

大同二年一月三日執政は滿洲國簡任官以上の官吏を執政府に招宴せられたるが、席上執政は左の如き訓詞を與へられたるに對し國務總理は滿洲國官吏を代表し答詞を述べた

執政訓詞

我滿洲締造以來忽々改歲數月之內艱苦萬端全賴中外大僚有司百執事同心協力漸樹規模惟國內氣移未銷瘡痍未復起衰振敝條理實繁正宜勵精神科荒毋忘深念一統一粟皆由民力勤瘁而來吾儕食稅衣租果何以無慚清夜必當卒勤刻常存不偷寧不欺暗室之心惟日孜々勉期上理一之復始萬象昭蘇所願自爾儕共同作方新之氣於以厚培國脈俯慰民心盡此一觴以爲左券

國務總理代表官吏答詞

敬奉訓諭大哉王言臣等雖乏萬皐之呼漢猶慕房杜之謀斷竊謂王者之道惟仁與智仁者克己無意無荒而已智者知人無偏無黨而已觀於其速無意無荒則知其主之仁觀於其廷無偏無黨則知其主之智況今日所處乃一成一旅之始基皇天無親必一德一心之是與敢陳愚悃且敬同僚

參議府會議

第三十六次參議府會議は一月六日午前十一時より參議府會議室にて開催張議長以下各參議出席左の事項につき審議の結果異議なく可決同十二時散會

議題
(一)鴉片法施行期日に關する件
(二)人事案件

勅選候補者略々決定

〔東京六日發國通〕內田嘉吉氏の逝去により勅選議員は四名缺員となつたが休會明け議會も旣近に迫り齋藤首相は之が補缺を詮衡してゐるが臨澤堀切長官小山法相は略々確實で殘り一名は關屋次官松本警保局長より詮衡されようとも見られてゐる

滿日支社へ 米田氏來任

滿洲日報奉天支社詰を命ぜられた米田秀甫氏は南里支社長同伴六日赴任挨拶に各方面を歷訪

愛媛縣人新年宴

新京愛媛縣人會にては來る七日午後五時富士町千鳥にて新年宴會を催すことゝなつた會費五圓希望者は三笠町松田洋服店並に興榮號へ申込まれたいと

山海關以西列車不通

今回の山海關事件により瀋山線山海關以西は列車の運行不能に落入つたが目下の開通の時期は未定である

米棉市況

〔東京六日發國通〕產地一帶の天候良好に南部筋の賣物增加して相場ヂリ安の步調を辿つた、商內は玄人筋に限られ出來高は多くなかつた、午前中には國內及び海外からの買需値定め註文があつたがアト掛繫ぎ賣增加した

銀塊情報

支那筋の買氣反撥した、だけあと米國は賣より買ひに轉じ更に堅りを呈した

氣溫と天氣

六日の氣溫最高零下二度八最低零下十七度四、七日は南西の風晴れ一時曇り

松竹映畫を語る前には是非此の映畫を見て下さい
本邦最初のラグビー戰を背景に描く壯快無比なるスポーツ篇!! 蒲田が世に誇る學窓映畫の精華
陸の若人
監督 重宗務 原作脚色 荒牧芳郎
主演 大日方傳 結城一郎 八雲惠美子 水久保澄子 上山草人
講談倶樂部所載 大佛次郎原作
鼠小僧次郎吉
林長二郎一人二役文字通り獅子奮迅の大猛演 尾上榮五郎 堀正夫 中村吉松 飯塚敏子 井上久榮 高峰季子
七日封切 二日間晝夜
燦たる哉! 松竹第一位主義! 三三年も亦王座を占む 新春蒲田加茂名篇大作 順次公開乞御期待
聖なる乳房 「主婦の友」連載 栗島すみ子主演、岡讓二、山內光
菊五郎格子 「キング所載」林長二郎大熱演、飯塚敏子
暴風帶 東西朝日新聞 川崎弘子、江川宇禮雄、澤蘭子、櫻井貢、清水宏監督
飛雲元祿史 市川右太衛門、花岡菊子、谷崎十郎特別出演
長春座

純ァ風ハリウッド式
フリージャ美容室
新京中央通大阪屋號向横町
新京常盤町一丁目六番地二
美容室主 新田八重

謹告
故父健太郎儀永々病臥中の所藥石効なく昨六日午前二時遂に死去仕候間生前辱知諸君に謹告仕候
追而葬送の儀は明七日午後二時途中葬列を廢し太子堂に於て執行仕候
男 土屋裕
親族總代 伊藤賀一
友人總代 大久保繁太郎
共榮會總代 乾辰三
聖德會總代 赤羽一二
縣人會總代 岡田小太郎
三區町內會總代 島名福十郎

回顧一年

齊々哈爾飛行隊の活躍　偵察〇〇隊長辻大佐

〔チチハル發國通〕本年一月錦州攻撃を振出しに宝〇興に協力し遼河大陵河を越へて遼西の野に飛翔し北飛南翔飛行場を轉づる事十數回平均一ヶ月に一度は移動して席の暖まる暇もなかつた、馬占山軍未期戰は北滿未曾有の大洪水であの泥濘馬腹を沒する道路濁流人を呑む泥々河を

＝踏破＝

し諸敏河奥深く進入し喰ふに食無く馬を屠ふるに至つた地上軍隊の活躍に感激し雷鳴驟雨を冒して飛行し感謝感激の涙を以て連絡や空中補給の時を思へば感慨無量に堪へぬ、十月の半ば東邊道唐聚五李春潤の兵匪討伐は既に初冬の寒さで零下十數度上空は零下二十數度もあつた、鴨綠江岸近二百粁近く山父山で氣流は悪ひ風は強い十六日の大雪に次で二十三日は吹雪打ち續き空、陸兩部隊共に相當苦勞した、友軍の間隙を縫ふて濛江官衙方面へ逃げる唐聚五の一味安奉線方面へ遁れむとする李春潤等を山間に捕捉して爆撃射撃を加へ大打撃を加へたが遂に巨魁を逸したのは殘念であつた、十一月海吉、瀋海線地區討伐の時も相當寒かつた匪首殿臣が歸順と見せて部下の壓迫に寢返りを打つた際一時爆撃を見合せて居たがお終には吉會線を越へて遠く八道河子、樺甸方面まで追ひ込むで爆彈を御見舞ひした時は痛快であつた、十二月大興安嶺方面蘇炳が叛軍攻撃は在ホロンバイル我同胞の仇討ちだ勝見少佐、伊藤中尉、犬飼曹長等の吊台戰としてあの零下三十度の寒さと風速四十米突の暴風を物ともせず活躍したが敵は案外脆く聊か張り合ひ拔の感はあつたが全般の作戰としては大成功であつたと思ふ、十二月奉天の南三角地帶の多門〇團の戰闘に參加して多門〇團の最後の戰を

＝援助＝

したが此際の錦州部隊の寶兒木下中尉は遊擊隊所屬の木下中尉の戰死に對する二十二日の吊台戰に華々しく活躍し敵の射擊をうけ大腿骨貫通銃創を受け遼陽病院に入院したのは昨年末の最終の犧牲者として同情に堪へぬ、前途多望の勇士勝目清水兩少佐、石谷、伊藤兩中尉犬飼曹長等の戰死、原田、久保村、村竹森四中尉、田中通譯等十數名の負傷者を出したのは我空軍の爲誠に惜しい事をした之等を考ふると陣中御正月の餅もやす／＼には咽喉を通らない樣な氣持ちがする

酉年の歴史(下)

神武から大正十年迄

時代變遷に伴ふ酉年の世相

八十四代順徳天皇の建保元年には和田義盛が義時を攻めて敗死し、九十代龜山天皇の弘長元年には、日本が生んだ世界的傑僧日蓮が伊豆に流されてゐる、時宗執權の所謂北條時代で、この頃まではまだ日蓮も、一介の怪僧に過ぎなかつたが、次の酉年、つまり一九四五年、後宇多天皇の弘安八年には元軍の再渡來が噂され、元冠の役によつて忽ち傑僧の名をほしいまゝにした日蓮は、國家安泰の祈願に夜も日もなかつた

九十六代後醍醐帝の頃は、皇帝を中心に戰爭オンパレードを展開した時で、楠正成の擧兵直後、の元弘三年には、新田義貞が北條氏を討滅してゐる、そして九十九代後龜山天皇の弘安元年には南朝は僅かに吉野を領するみじめさで落花深きところに南朝を說かれたのもこの頃であらう、然しその南北兩朝も、第百代後小松天皇の二千五十三年、卽ち明徳四年の酉年には合一されて、天下は再び安定し、足利全盛の時代となつた、輝虎と晴信とが互いに火花を散らして、川中島に戰ふたのは正親町天皇の永祿四年で、同じ帝の天正十三年には、いよいよ豐臣時代となつて、秀吉が關白となつてゐる、百七代後陽成天皇の慶長十四年には世はもう德川の天下と變つて二代將軍秀忠が造艦を禁止してゐるのも面白い、この年堺の銃工が大砲を鑄造したのが日本に於ける大砲製作の始めだといふが、一發ブッ放すにも、どの位の手數がかゝつたかわからない、後西院の明曆には江戸に大火があつて、死者十萬八千を出したといふ記錄がある、して見ると大正十二年の大震災に勝るとも劣らないものであるが、たゞ調査の正確のほどは信頼の限りでない、百十三代東山天皇の享保十四年には、德川天一坊といふ怪青年を處分し、ついで百十七代後櫻町天皇の明和二年には、文字銀と鐵錢寛永通寶が產み出された力士谷風梶之助が横綱免許となつたのは後桃園天皇の安永六年、百二十代仁孝天皇の御代となつては、幕府が攘夷令を發布するといふ變り方で、この年は春から秋にかけて、殆んど雨が降つた記錄がある、爲めに東海道筋は大洪水で、被害も亦すくなくなかつたらしい

黒船來る！突如としてアメリカの軍艦が浦賀灣頭に現はれ、眠れる日本を呼びさましたのは、同じ仁孝天皇の天保八年で、百二十一代孝明天皇の二五〇九年には、オランダ人が始めて種痘を傳へてゐる二五三三年の癸酉は、もう明治六年で、この年、六鎭台を置き、始めて徴兵令なるものが布告された、一錢と二錢の銅貨を鑄造したのもこの年だか、征韓論で西鄕隆盛が席を蹴つて起ち、そのまゝ薩州に歸つたのもこの年だ

明治十八年の酉年には、伊藤博文が總理大臣となつて、琵琶湖疏水の起工式や日本郵船會社の創立をなどがあつた漸く外國の文物が浸入して、婦人の束髪が流行しだしたなどは風俗の一轉機と言へやう、次の酉年、明治三十年には、京都帝國大學が設置され勸業銀行が開業してゐる、選擧騷擾で到る處血の雨を降らせ、松方內閣が投げ出しをした年で豪雨のため各地に水害も多かつた、越えて四十二年の酉年といへば、米國西部に排日運動が起つて憤慨した年で、この年、伊藤博文は朝鮮に於いて暗殺された。最後の大正十年は皇太子殿下（今の聖上陛下）が御渡歐遊ばされた紀念すべき年で、外にはワシントン會議が開かれ、內には郡制廢止があつた

以上はホンのかいつまんでの記述であるが、大体に於てこの酉年は祝福多い年のやうに思はれる

酒の悪戯(下)

佃平四郎作　大津逸二畫

こゝらからすこし瞳がすわり出した。狼狽し老爺が差し出す五郎八茶碗からぐつと水をあほつた平手造酒、これで往くかと思ふと何うしてどうして、果ては愚圖つて絡んで來た。

「いや、世の中には不思議なこともあるものぢや。」

不思議でも何でもないことを當人しきりに不思議がつてゐる。お手前のはうが餘つ程不思議だ。

「獄門台の桶を取つてみたらあるべき筈の首がない」

と桶を取る手つきをし乍ら

「何故首を——？」

「申譯ございません。」

「うむ。謝罪致すか。か只では濟まさんぞ。其方の首を取つて代りに桶をかぶせるから左う思へさ〻これへ出ろ。」

老爺、愕いたの何のといふ段ではない。それへ平太還つて兩手を合はせた、命乞ひだ。から文字通り一生懸命、秋の夜中に布子一枚で身体ぢうに流れるやうに汗をかいたのは、この老爺の長い一生にも前後この時限りだつたといふが、尤もこんなことがさう度々あつては遣り切れまい。遣酒は面白づくだ。しかし、出やうによつては何時でも斬る氣である。

「さ、これへ出ろ。それとも身共から踏み込まうか。」

踏込まれて耐るものか。老爺は默つて額を地に摺りつけるだけ、聲も出ない。

「はつはつは、小膽な奴め。」

笑ひ出した造酒、顔を上げる老爺を白眼んで、またもや大變なことを言ひ出した。

「其方、首は夜分當小屋へ納ひ置くと申したが、然らばその首出して見せろ。」

嫌と言へば何をし出すか判らないから、老爺は仕方なく獄門の曝し首を片隅から取出して來て、見參に供へた。

「はゝあ、草色を致しおるなさては營養不良と見えん。」

なに、そんなことは言はない。一層興がつて今度は胴体を見せろと、いつかな肯かない。見込まれたのか最後だから、老爺は番小屋を出て裏の竹矢來の圍ひの中へ案内した。俵が轉がつてゐる。これを解すと、出て來たのが生々しい仕置人の胴だ。夜陰のことだから一しほ凄慘な光景、泰然たるのは平手造酒唯ひとり。

「どうも只眺めただけでは面白くないて。一つ胴斬りといふのをやつて見よう。」

止めれば此方へお鉢が廻つて來ると思ふから、老爺もふるへ聲で賀意を表してしまつた。さあ、いよいよ圖に乗つた酒亂惡劍の造酒先生、齒の根も合はない老爺に胴体を青竹垣へ立て掛けさせて置いて

「うまく立たぬか。」

「へえ、何分生きが惡うがすから——。」

老爺も江戸つ見だ。斯うなれば結句洒落るだけの餘裕も出て來る。

「やつ！」大喝一聲した平手造酒、續いて「おうつ！」と喚きざま、腰を捻つて肩を落した。電火一閃、白刄が闇を切る、と見る。首のない胴体が眞向微塵唐竹割り、一つが二つに分れて左右に倒れた同時に刀は鞘に納まつて、造酒はよろめく足を踏み締めて立つてゐる。拔いた氣配さへ判斷にも見えなかつた。

つぎには、別の屍体を出させて腕を斬り落したが、その片腕を持つて先生、ぶらりと刑場をあとにした。

そして造酒先生、懐手の袖口から死人の片腕を覗かせて新吉原は仲の町へ繰込んで來た。

先生、羽織をすつこけにしてにやにやしてゐると、お茶つぴいの群から勇敢な妓が飛び出して來て、勤番のほ衆と見たから只は歸さない頭の頂上から黄色い聲を出して、お茶つぴいの一人、こゝを前途と造酒先生の袖に縋つて手を取つた。

「まあ冷い手だねえ。風に吹かれて歩くもんではありんせんたら、おあがりなんし。」

ぐいぐい手を引張つた。

「これこれ、止せと申したら止せ。おい、おい、さう引張つては不可で。手が拔ける」

言ひ乍ら平手造酒、面倒臭くなつたからほいと懐中で手を放した。機みを食つてお女郎は片腕握つたまゝすつてんころり、きやつと叫んで氣を失つた、その間に先生、粋雄を脱して立去つたのはいゝがあとでは扇屋の花町花魁がおたカだ、渡邊の綱の再來だ、といやもう大變な騷ぎ——あられもない廣告になつた。

四平街通信

〔四平街支局發〕内外共に多事多難なりし七年を過去に日滿提携第一春の輝しき希望に滿ちた八年元旦は迎へられた

憲兵隊午前九時半より樓上講堂に於て林隊長喪中につき保科班長發聲 天皇皇后兩陛下の聖壽を壽ぎ一同冷酒の乾盃を上げ散會

普通學校午前七時から同校講堂にて多數官民參列拜賀式擧行

警察署午前七時同署講堂にて飯島署長發聲 天皇陛下皇后陛下の萬歳を三唱し奉り盃を上げて終る

小學校午前十時半校庭に於て嚴かに國旗掲揚式擧行式終りて講堂にて官民有志多數參列御眞影拜賀せり

四平街神社朝まだきより參拜者絕へず午前十一より本殿に於て歲旦祭が嚴かに行はれた

新年互禮會正午十二時から滿鐵クラブ道場に於て開催山岸地方事務所長の迎春の辭ありて張宴飯島警察署長の發聲のもとに 天皇皇后兩陛下の萬歳を三唱し奉り後滿洲國代表發聲の萬歳三唱し和氣堂に滿つる裡に散會

四平街特産物在貨

〔四平街支局發〕四平街日滿特產商聯合會の調査に係る十二月末現在の特產物在貨を示せば左の如くである（單位車）

品目	専用線	院内	計
大豆	一三八	二二九	三六七
高粱	一〇九	四三二	五四一
小米	六五	六一	一二六
生米	一	〇	一
谷子	一三	三六一	三七四
迷子	一四	〇	一四
苞米	七二	六一	一三三
蕎麥	四〇	三二	七二
吉豆	一四	八	二二
小豆	四	九	一三
小麻子	五六	二二	七八
大麻子	七	〇	七
芝麻	三〇	一〇	四〇
蘇子	八	一三	二一
粳米	一	八	九
稲子	〇	二	二
糠子	〇	二五	二五
大麥	〇	一	一
莫豆	〇	二七	二七

にして、此の合計は專用線五七二車、院内一、三〇一車、合計一、八七三車である

食道樂　千鳥　電二〇三八

辯護士　沼田勇　吉野町二丁目三番地　電話三七二八番

辯護士 法學士　大原萬千百　老松町十六番地（元露馬場跡朝日通北側）電話（三九三七）番　哈爾賓地段街東新ビル内　電話四五〇六番

支店開設と毛皮廉賣
一、カワウソ、狐其他高級毛皮種々
一、子供外套、洋服、毛皮
一、御婦人用襟巻、オーバ
一、防寒帽子、其他防寒品
日本橋通り（モデルン隣）カラペチヤンツ内
毛皮 洋服 帽子 商　パレー商會
本店 哈爾賓キタイスカヤ街七九

嚀叮　切親　確實
首都新京に唯一つの地場銀行を御利用下さい
三笠町三丁目
株式會社　長春實業銀行
電話 二〇三三 二九四四番